

川淵賞（英文部門）を受賞して

大阪母子医療センター

橋本 洋章

この度、当科にて発表しました論文が、日本小児神経外科学会の 2024 年度川淵賞(英文)に選ばれました。これも関係先の方々のおかげと感謝申し上げます。さて、頭囲の正常成長曲線は日常診療において水頭症などの頭囲異常を発見するために参照されており、非常に有用なツールです。水頭症の原因の一つに脈絡叢過形成という稀な疾患が存在します。しかし、これまで小児における脈絡叢体積の正常成長曲線は報告されていませんでした。そこで、大阪母子医療センターを頭部打撲のため受診した方の頭部 CT を用いて脈絡叢体積の成長曲線を明らかにするため本研究を行いました。0 歳から 10 歳までの方を対象とし、229 回分の頭部 CT を解析したところ、脈絡叢は生後 0 ヶ月から 12 ヶ月にかけて急速に成長し、体積が 1.5mL に達しますが、その後はそれほど変化を示さないことが明らかになりました。本研究結果は、脈絡叢疾患を客観的に評価する上での有用な基準になることが期待されます。

受賞論文：Hashimoto H. et al. Normal growth curve of choroid plexus in children: implications for assessing hydrocephalus due to choroid plexus hyperplasia. J Neuro Surg: Ped, 32(6), 627-637, 2023.